

見積業者選定経過書

| | |
|---|---|
| 1 業務名 | 令和8年度信州屋根ソーラーPR業務 |
| 2 応募者数 | 3者 |
| 3 評価会議の構成 座長 構成員 | 座長 ゼロカーボン推進課 課長 構成員 ゼロカーボン推進課 再生可能エネルギー係長 ゼロカーボン推進課 省エネルギー係長 ゼロカーボン推進課 ゼロカーボン戦略推進係長 広報・共創推進課広報係 |
| 4 選定基準 | 別紙のとおり |
| 5 選定結果 選定された者 評価点集計結果(点数) 評価点集計結果(順位) 評価点集計結果(費用) | アド・コマーシャル株式会社 328/500点 ・5名中4名が1位とした。 ・費用の上限額を下回っている。 |
| 6 企画提案を求める具体的内容 | 1 業務に対する基本的な考え方、取組方針等 (1) 業務内容等への理解度 ・事業目的や業務内容等を十分に理解の上、具体的な企画提案が行われているか。 (2) 業務遂行に対する責任感 ・責任をもって委託業務を遂行することができる事業者であることが見込まれるか。 2 企画内容等 (1) テレビCMナレーション音声の提案および放送 ・以下のナレーション要件に基づいているか。 (ア) 発生・発音が明瞭で生活環境(家事中など)においても聞き取りやすい音声であること。 (イ) 親しみやすく誠実な語り口とすること。 ・ターゲットに向けて効果的に届く合理的な期間及び時間帯の提案になっているか。 (2) 住宅メディアへの広告掲出 ・ターゲットに向けて効果的に届く合理的な提案になっているか。 (3) その他メディアへの広告掲出 ・県民に向けて効果的に届く合理的な提案になっているか。 (4) 広報活動に関する効果測定・分析 |

| | |
|---------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・提案する企画により、県の施策や広報認知の効果を測定し、今後の屋根ソーラーに係る広報活動の方針検討の基礎となるデータの収集方法になっているか。 <p>3 業務の実施体制等</p> <p>(1) 受注者の業務遂行力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本業務の受託者として十分な専門的知識やノウハウ、企画力等を有し、業務を効果的・効率的に行うことができる能力を有しているか。 ・類似事業の履行実績を有しているか。 <p>(2) 運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の運営に必要な人員が配置され、指揮命令系統が明確な体制となっているか。 ・業務を確実に行うことができ、県との連携を円滑に図ることのできる体制がとられているか。 <p>(3) 業務スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の全体にわたり、具体的かつ実現性の高いスケジュールが提案されているか。 <p>4 業務等に関する経費及びその内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務経費見積額の積算内容は、提案業務内容に対して妥当か。 <p>5 その他事業の目的を達するために有効な事項</p> |
| 7 企画提案で評価された点 | <p>その他メディアへの広告掲出について、県民に向けて効果的なWEB広告の提案が高く評価された。</p> |
| 8 総合的判断 | <p>プロポーザル審査で高い評価点を獲得したアド・コマーシャル株式会社を、優れた提案をした者として見積業者に選定する。</p> |